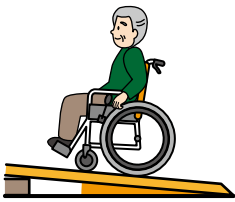
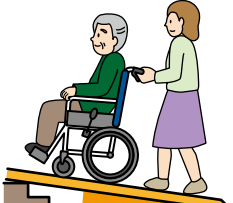




スロープの選び方

スロープは段差を緩やかな傾斜に変えるための用具です。車いすでの移動はもちろん、小さな段差につまづいてしまう方にも役立ちます。場所や用途に合わせて、上手に選ぶことがポイントです。

● 最適なスロープの長さ

車いすおよび車いす利用者の重さや介助する方の体力により異なります。表はあくまでも目安としてご活用ください。

使用状況	自力走行 介助なしで使用	非力な介助者 高齢者の方が介助	一般の介助者 健常者の方が介助	最大適応段差 通常に使用できる限界
	傾斜角度5度	傾斜角度8度	傾斜角度12度	傾斜角度15度
				
スロープ長	段差・高さ 5°	段差・高さ 8°	段差・高さ 12°	段差・高さ 15°
40 cm	3 cm	5 cm	9 cm	10 cm
70 cm	6 cm	9 cm	15 cm	17 cm
1.2 m	10 cm	15 cm	26 cm	30 cm
1.65 m	15 cm	20 cm	35 cm	41 cm
2.0 m	18 cm	25 cm	43 cm	50 cm
2.55 m	22 cm	31 cm	55 cm	63 cm
2.85 m	24 cm	34 cm	61 cm	70 cm
3.0 m	26 cm	37 cm	64 cm	75 cm

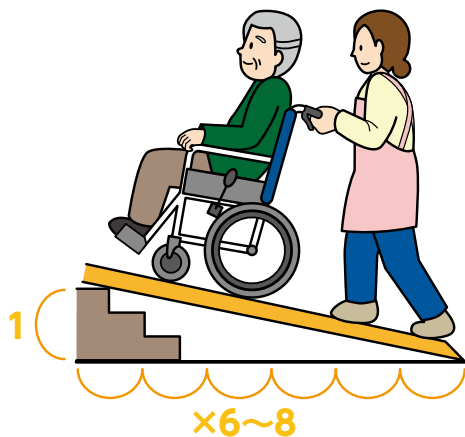
● 最適なスロープの長さの算出方法

■ 介護者が押す場合

「段差の6~8倍以上」の長さ

があれば比較的楽に押すことができます。

《例》段差20cmを越える場合、120~160cm以上

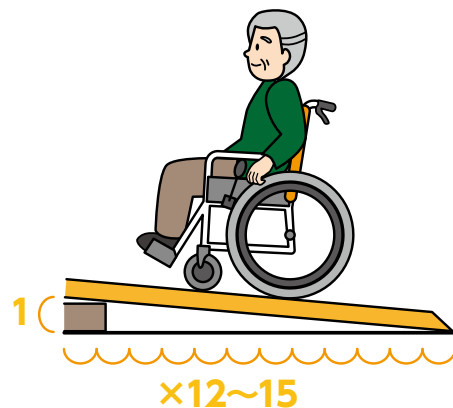


■ 自操、電動式車いすの場合

「段差の12~15倍以上」の長さ

があれば比較的楽に押すことができます。

《例》段差10cmを越える場合、120~150cm以上



※ご方、押す方の体力や車いすの種類、使用場所によって多少異なります。